

人権学習展開例（第1学年）



主題名 命の尊さ

教材名 せみの ようちゅう


人権学習の視点 普遍的な視点「生命や人間の尊厳」

主題・教材について 子どもたちは、安易な気持ちで虫などの生き物をつかまえ飼い始めることが多いが、世話が続き、死なせてしまうことがある。この教材を読み、筆者の気持ちに共感する中で、生き物の命の尊さに気付かせたい。

ねらい

せみの幼虫の死を目の当たりにした作者の悲しみに共感し、命の尊さに気付かせる。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○教室等で、生き物を飼った経験を思い起こさせる。	一斉	○捕まえてきた虫をみんなで世話した経験を発表する。	○生活科の学習など、できるだけ記憶に新しい共通体験を提示する。	
	○せみの羽化を心待ちにしている作者の気持ちを読み取らせる。	一斉	○CDの前半を聞く。	○資料のさし絵を参考にして、場面をイメージさせる。	資料 「せみのようちゅう」 CD (本文 P.12)
展開	この子は、どんな気持ちでねむったのでしょうか				
	○幼虫がせみになるのをわくわくして待っている気持ちを読み取らせる。	一斉	○意見を発表し合う。 ○CDの後半を聞く。	○せみのために良いことをして、うれしい気持ちになっている様子を読み取らせる。	 CD (本文 P.13)
	せみをうめているとき、せみに何と言ったでしょう				
	○せみを死なせてしまった悲しみに共感させる。	個別 一斉	○せみに何と言ったかを考え、ワークシートに書く。 ○自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりする。	○せみに話しかけるような気持ちで書かせる。 ○命を大切に思う気持ちが表れている言葉に気付かせる。	ワークシート ①
生き物を飼うときに、大切なことはどんなことでしょう					
	○生き物を飼うときに大切なことを発表させる。	一斉	○自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりする。	○できるだけ具体的な例を考えさせる。	
まとめ	○生き物を飼うときに大切にしなければならぬことを考えさせる。	個別	○ワークシートに自分の考えを書く。	○生き物によって世話の仕方が違うことに気付かせる。	ワークシート ②

評価

せみの幼虫の死を目の当たりにした作者の悲しみに共感し、命の尊さに気付くことができたか。

